



屋久島地区  
アラタ シンサク  
荒田 伸作さん(51)

屋久島町永田の荒田伸作さんは、就農13年目のパッションフルーツ農家です。大学卒業後に長崎県の企業に就職しましたが、父親がタンカン・ポンカンを栽培している現役農家だったこともあり、平成20年にUターンし就農。父からの指導を受け農業に従事する傍ら、観光関係の仕事も経験し、そこで、観光客や女性受けの良いパッションフルーツに魅力を感じ平成25年に5㍎を作付。現在は10㍎作付し更なる増反に意欲を燃やしています。

### 夏場と冬場に収入

#### 屋久島農家に大きなメリット

屋久島で主流のタンカンやポンは露地栽培のため、天候に左右されやすく収量が減ることも多くデメリットがあります。

一方で、パッションフルーツはハウス栽培のため、収穫量もある程度の予想が立ち、品質管理もしやすく安定した出荷が見込めます。

「屋久島のタンカン・ポンカン農家は冬場のみの収入が基本だが、夏場にも収入を得ることができるありがたい作物。屋久島での農家経営に大きなメリットがある」と話しています。

### 栽培方法を研究 P D C A で品質向上へ

パッションフルーツは、管理次第で1つの苗で3年以上も収穫できますが、荒田さんは、更なる品質向上のため、1年ごとに苗の育苗、土壌管理をゼロからスタート。目標や課題を設け、栽培方法を計画し、収穫後に失敗していた部分を検証することで、次年度の改善策に繋がります。

「根接ぎの効果で樹勢を強めたり、枝の長さはどこまでが適切か試したり試行錯誤した。現在は、枝が途中から地面に向かうよう誘導し樹勢を高め、大玉、高品質の生産を目指している」芽分化やホルモンなどの文献書を読み込んだ時期もあるという荒田さんの研究は続きます。

### 増反への意欲

#### 地域貢献も視野に

荒田さんは、現在の10㍎から15㍎へ増反し、経営体制も変えていくという目標があります。

「地域の方の雇用を広げることで、地域の活性化や地域貢献も視野に入りたい。そのためにも高品質の作物を栽培し、安定した出荷ができるよう努力し続けたい」と話しました。



双子座  
5/21  
～6/21

【全体運】いつもより「楽しむ」時間を優先させて。ゆったり楽しい時間を過ごせばよい考えが浮かびそう。買い物にツキ  
【健康運】友人と一緒にできるスポーツにツキ  
【幸運を呼ぶ食べ物】ジュンサイ